

農業者支援の組替動議に賛成 特別職給与アップに反対

12月議会 12億円規模の補正予算などを採択して閉会

市民からの3つの請願いずれも願い届かず

62の議案等を採決

市議会12月定例会は15日、58の議案、1つの報告、3つの請願を採択して終了しました。議案の中心は、総額約12億6千万円の補正予算です。

夏の異常高温による収入減に苦しむ農業者への支援、公共施設のエネルギー価格の高騰への対策、子ども医療費などの各種助成金の不足分の補てん、それに市職員の給与アップの費用が中心です。

予算組替動議に賛成

このうち、農業者への支援では、他市が収入の減収に対して直接補助する制度であるのに対して、当市では生産資材費の一部を補助するという制度になっています。

このことに対して、ある議員から「他市のように収入が減ったことに対する補助を行うべきだ。また、規模が大きくなると不利になるような資材費補助の上限はなくすべきだ」という趣旨の予算組み替え動議が提出されました。

この件に関しては、動議の趣旨が当を得ていることから、日本共産党議員団として賛成しました。しかし、賛成議員は7人にとどまり、採択には至りませんでした。

特別職の給与アップに反対

市職員の給与アップには、市長や副市長、教育長の給与、それに議員の報酬のアップも含まれています。

これらに対して党議員団は、



「市民は依然として物価の高騰などの中で厳しい暮らしを強いられており、こうした中ででの引き上げは市民の支持を得られない」として、今回の補正予算に反対しました。

請願は市民の声届かず

今議会には、市民から3つの請願が出されました。

① 高齢基礎年金等の改善を求める請願 ② 再審法の改正を求める意見書提出の請願 ③ 町内防犯灯(LED灯)の取換費用を市の負担とする請願の3つです。

これらに関しては、上野議員が賛成討論を行いました。

①に関しては、「一昨年、昨年と年金が削減され、今年は増額されたものの、物価高騰で実質的に削減となった。年金に頼る高齢者の暮らしはさらに厳しい。物価の上昇に見合う年金の改善を図るよう市民の声を国に届けることは我々議会の役割だ」と述べました。

また、②については、「我々は一人の人間として、無実の人が冤罪を被ってしまう、場合によってはそのことによって、その人の人生や命までも奪われてしまうこともある不道理を見逃すことがあってはならない。専門家でなくても冤罪被害者を救おうという立場に立つことは当たり前だ。たとえ一地方議会といえども、国に対して意見書という形で法律の改正や様々な不道理の改善を求める役割を有している。当然採択すべきだと述べました。

③に関しては、「市内各所の防犯灯のLED化は市の支援制度があったが、それから10年近くがたち、取換時期になってきた。それには多額の費用がかかり、各町内会には重い負担のしかかる。市民

の安全・安心の確保は行政の大事な仕事であり、取換経費は行政に負担願いたいというのは理解できる」としました。

残念ながら、これら請願はいずれも不採択となりました。



ポスター掲示自粛に反対

この他、多くの議員から「市議会議員選挙のポスターを公営掲示場以外は屋外に掲示しないよう自粛する」という決議案が出されました。

これには党議員団として、「市民が自らの代表を選ぶ選挙に当たって、その人柄や政策を訴えるための基本情報である選挙ポスターは、できるだけ多くの市民の目に触れるようにすべきであり、法律で許されるだけの掲示を自粛するべきではない」という立場で反対しました。

しかし、他の会派がそろって賛成したため、この決議は採択されました。ただし、自主決議であるため、法的な拘束力はありません。

第10波襲来か！ 増加の一途！ 上越保健所管内
新型コロナウイルス感染症
感染者定点報告数

11月27日～12月3日 15.38 (県4.33)
12月2日～12月10日 17.38 (県4.69)

日本共産党上越市議員団ニュース

No.817 2023年12月24日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))